

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●大阪杯でレイパパレが無敗のまま G I 初挑戦初制覇を達成

4月4日(日)に行われた大阪杯(G I)ではG I初挑戦のレイパパレ(牝4歳／栗東・高野友和厩舎)が優勝、デビュー6連勝でのG I初制覇となりました。1984年のグレード制導入以降、無敗のまままでJRA古馬G Iを制したのは、ファインモーション(2002年エリザベス女王杯)、クリソベリル(2019年チャンピオンズC)に続く史上3頭目のこととなります。

### ●M.デム一口騎手がJ R A通算1100勝を達成

4月3日(土)の3回中山3日・第11レースとして行われたダービー卿チャレンジトロフィー(G III)ではテルツェットが1着となり、同馬に騎乗したミルコ・デム一口騎手(栗東・フリー)は、史上34人目、現役では16人目となるJ R A通算1100勝(6285戦目)を達成しました。

### ●キングカメハメハ産駒がJ R A通算2000勝を達成

4月3日(土)の2回阪神3日・第9レースとして行われたアザレア賞では、リープルミノルが1着となり、キングカメハメハ産駒のJ R A通算勝利数が2000勝となりました。これはサンデーサイレンス、ディープインパクトに続くJ R A史上3頭目の記録となります。

### ●重賞ウィナー4頭の競走馬登録抹消

2018年毎日放送賞スワンS(G II)などの勝ち馬ロードクエスト(牡8歳／美浦・小島茂之厩舎／J R A通算41戦4勝)、2019年エンプレス杯(川崎・Jpn II)などの勝ち馬プリンシアコメータ(牡8歳／美浦・矢野英一厩舎／J R A通算20戦4勝・地方17戦4勝)、2018年エルムS(G III)の勝ち馬ハイランドピーク(牡7歳／美浦・土田稔厩舎／J R A通算28戦6勝)、2019年札幌2歳S(G III)の勝ち馬ブラックホール(牡4歳／美浦・相沢郁厩舎／J R A通算10戦2勝)は、3月19日(金)までに競走馬登録を抹消されました。ロードクエストは地方・大井競馬、ハイランドピークは地方・浦和競馬に移籍し、プリンシアコメータは北海道新ひだか町の畠山牧場で繁殖馬、ブラックホールは千葉県香取市のノースショア(沼田ファーム内)で乗馬となる予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●マリーンC(船橋)でテオレーマが重賞初制覇

マリーンC(Jpn III、4月7日、船橋、1600m)は、道中後ろから2頭目という位置から追い上げた2番人気のテオレーマ(川田将雅騎手、牝5歳、父ジャスタウェイ)が残り50mで差し切って優勝。3番人気のマド拉斯チェックが2馬身差の2着に入り、逃げた1番人気の昨年の覇者サルサディオーネ(大井)は3着、フェアリーポルカは4着、レッドアネモスは5着でした。

### ●桜花賞(浦和)は人気のケラススヴィア【各地の主要3歳重賞】

桜花賞(3月31日、浦和、1600m、牝馬)は、逃げたケラススヴィア(父サウスヴィングラス)が後続を3馬身引き離し、単勝1.3倍の圧倒的支持に応えて3度目の重賞制覇を果たしています。

### ●リュウノユキナラが参戦、4月14日の東京スプリント(大井)

東京スプリント(Jpn III、4月14日、大井、1200m)は、ダート1200mのオープン特別を連勝中のリュウノユキナが中心、以下ベストマッチョ(川崎)、サブノジュニア(大井)、ヒロシゲゴールド、サイクロトロン、イモータルスマーカ、ノボバカラまでが争覇圏内と考えられます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G 2ブルーグラスS～エッセンシャルクオリティが無敗守る

4月3日に米国ケンタッキー州のキーンランド競馬場で行われたG 2ブルーグラスS(3歳、ダート1800m)はL.サエス騎手を背に2番手で流れに乗ったエッセンシャルクオリティ(牡、父タピット、B.コックス厩舎)が逃げたG 3ゴッサムS 3着馬ハイリーモチベーテッドとの競り合いをクビ差で制して優勝しました。エッセンシャルクオリティは、昨年G 1ブリーダーズC ジュベナイルとG 1ブリーダーズフューチュリティ(ともにダート1700m)を含む3戦3勝で米最優秀2歳牡馬に選出。今年初戦となった2月27日の前走G 3サウスウエストS(ダート1700m)も制しており、これで5戦5勝としました。

### ●G 1サンタアニタダービー～ロックユアワールドが逃げ切る

G 1サンタアニタダービー(3歳、ダート1800m)が米国カリフォルニア州のサンタアニタパーク競馬場で4月3日に行われ、U.リスボリ騎手が手綱を取ったロックユアワールド(牡、父キャンディライド、J.サドラー厩舎)が逃げ切って優勝しました。ロックユアワールドはこれまで芝で2戦2勝。ここは初めてのダート戦でしたが、いきなり最良の結果を出しました。